

Performing Arts

POWER OF ART DANCE SERIES VOL.2 上村なおか 森下真樹

か おんな
「駈ける女」

開催日時:2013年4月27日(土) 開演 19:00(開場 18:30)
 28日(日) 開演 14:00(開場 13:30)/開演 19:00(開場 18:30)
 29日(月・祝) 開演 14:00(開場 13:30)

会場:スパイラルガーデン(スパイラル1F)

スパイラルは、4月27日(土)~29日(月・祝)にかけて、POWER OF ART DANCE SERIES VOL.2 上村なおか 森下真樹 「駈ける女」を開催します。

■ 高さ16メートルの吹き抜け、上階へと続くスロープ、檣建築の特徴でもある広々とした空間“アトリウム”で行うダンスシリーズの第2弾

“アトリウム”は、カフェに隣接し、回廊のようなギャラリーに続いて、高さ16メートルの吹き抜けのあるゆったりとした広さが特徴の空間です。そこには、上階の“スパイラルマーケット”へ続くスロープがあり、散歩をするように気軽にアートに触れて欲しい、というコンセプトを象徴した檣文彦の建築です。

「POWER OF ART DANCE SERIES」はこの空間を舞台に、「アート」のジャンルの一つとして「ダンス」を年1回のシリーズで紹介することで、より多くの方が気軽にコンテンポラリーダンスにふれることのできる機会を創出していくものです。

■ 日本のコンテンポラリーダンス界を代表する个性的な3人の女性ダンサー・振付家が競演！

本シリーズ第2弾では、日本のコンテンポラリーダンス界を代表する3人の女性ダンサー・振付家を紹介し、出演ダンサーには、上村なおかと森下真樹を迎えます。柔らかくしなやかでありながら、揺るがない芯の強さを感じさせる上村なおか。ソロ活動に加え、写真家や照明家、ファッションデザイナーなど異なるジャンルの表現者との共作も積極的に取り組み、作品世界にますます深みを増しています。一方、森下真樹は、歌や演技を織り交ぜた予測不可能、奇想天外なパフォーマンスでユニーク



photo: Katsura Komiya

よく食べて
よく笑う

几帳面で早いときと
書き溜めて いちばん遅いときがある

薫るあなたが
ここから見える

かつパワフルな世界観を紡ぎだし、国内外から注目が高まっています。

振付は、二人のダンサーたつての希望により、コンテンポラリーダンス界の「ゴッドマザー」とも称されるダンサー・振付家の黒沢美香が手がけます。

今回が初顔合わせとなる、異なる3つの個性の競演がどのような作品へと昇華するのか、期待が高まります。

また、アトリウムの変化に富んだ建築空間を活かし、2階へと続くらせん状のスロープから舞台を見下ろすユニークな鑑賞スタイルも見どころの一つです。

ぜひこの機会に、本公演をご取材下さいませよう宜しくお願いいたします。

■取材に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください。

スパイラル／株式会社ワコールアートセンター 広報部 加藤美穂、瀧本恵理
 〒107-0062 東京都港区南青山5-6-23 TEL 03-3498-5605 FAX 03-3498-7848
 E-mail press@spiral.co.jp http://www.spiral.co.jp/

開催概要

POWER OF ART DANCE SERIES VOL.2 上村なおか 森下真樹 ^か ^{おんな} 「駈ける女」

開催日時: 2013年 4月27日(土) 開演 19:00(開場 18:30)
 4月28日(日) 開演 14:00(開場 13:30) / 開演 19:00(開場 18:30)
 4月29日(月・祝) 開演 14:00(開場 13:30)
 会場: スパイラルガーデン(スパイラル 1F) 東京都港区南青山 5-6-23 <http://www.spiral.co.jp/>
 東京メトロ表参道駅(銀座線、千代田線、半蔵門線)B1/B3 出口

ダンサー: 上村なおか 森下真樹

振付: 黒沢美香

衣装: 萩野緑 / 照明: 木藤歩 / 音響: サエグサユキオ / 舞台監督: 河内崇 / 宣伝美術: 杉 怜

チケット(入場整理番号付、全席自由): 立ち見席 前売 2,500円 当日 3,000円

座り席 前売 3,000円 当日 3,500円

※この公演は、2Fへと続く螺旋状のスロープから舞台を見下ろす形式です。

メインの客席は立ち見席となります。座り席もご用意しておりますが、

作品をより楽しむためには立ち見席をお勧めします。

上演時間は約1時間、クロークもご用意しております。

チケットの取り扱い: ▶スパイラル: 電話予約: 03-3498-1171

窓口販売: 東京都港区南青山 5-6-23 4F

▶Confetti(カンフェティ 観劇ポータルサイト):

WEB 予約: <http://confetti-web.com/>

電話予約: 0120-240-540 カンフェティチケットセンター

お問い合わせ先: スパイラル TEL:03-3498-1171

主催: 株式会社ワコールアートセンター

企画制作: スパイラル

制作協力: Dance in Deed!

プロフィール



photo: masatoshi kaga

上村なおか

金沢市生まれ。お茶の水女子大学舞踊教育学科卒業。バレエから始まったダンスの好奇心は木佐貫邦子・笠井穀両氏への師事とともに、尽きることなく現在も進行中。自作のソロダンスを始め、様々なジャンルのアーティストとのコラボレーションや劇場以外の場所での発表も多く、その意欲的な挑戦と成果に対して第36回舞踊批評家協会新人賞を受賞。近年は国内外での精力的な活動とともにワークショップを通じて「身体の発見と冒険」を実践中。現在、桜美林大学総合文化学群などで講師を務める。 <http://www.naoka.jp/>



photo:427FOTO

森下真樹

幼少期に転勤族に育ち、転校先の友達作りで開発した遊びがダンスのルーツ。10か国30都市以上でソロ作品を上演するほか、長塚圭史演出作品の振付や矢野顕子(yanokami)ライブへの出演などジャンルを超えた活動を展開中。また、100人いたら100通りの顔や性格があるようにダンスがある！をモットーに幅広い世代でワークショップを開催。周囲を一気に巻き込み、独特な「間」からくる予測不可能、奇想天外な動きで展開されるワールドが特徴。04年横浜ダンスコレクション 2004 ソロ×デュオにて横浜市芸術文化振興財団賞、05年東京コンペ #2にて優秀賞を受賞。 <http://maki-m.com/>



photo: nogisumiko

黒沢美香

横浜生まれ。5歳から舞踊家の両親(黒沢輝夫、下田栄子)のもとでモダンダンスを習う。1982~85年NYに滞在。当時のNYダウタウン・ダンスシーンをリードする振付家の作品を踊り、国内外の公演に参加する傍ら、ジャドソン・グループのポスト・モダンダンスに衝撃を受ける。帰国後は、日本におけるコンテンポラリーダンスのパイオニアとなって日本のダンス界の幅を広げる活動を行い、「黒沢美香&ダンサーズ」、ソロダンス『薔薇の人』シリーズを進めながら、最近踊る大学教授陣「ミカツキ会議」を結成。子どもの文化芸術体験事業や社会・地域連携プログラム等に参加。舞踊コンクール第1位、新人賞、優秀賞、舞踊批評家協会賞、日本ダンスフォーラム賞、ニムラ舞踊賞など受賞。 <http://www.k5.dion.ne.jp/~kurosawa/>

■POWER OF ART DANCE SEIRIES とは

ダンサーに焦点をあて、スパイラルの象徴的スペースである吹き抜けの空間「アトリウム」を舞台とし、2012年3月にスタートしたダンスシリーズ。ダンサーと振付家、そして見る側もじっくりとダンスに向き合う場を提供します。VOL.1では、ダンサー・振付家の黒田育世を紹介しました。



POWER OF ART DANCE SEIRIES VOL.1
黒田育世「うみの音が見える日」公演風景
Photo: Katsuhiko Ichikawa

POWER OF ART DANCE SERIES VOL.1 黒田育世

「うみの音が見える日」

2012年3月27日(火)～28日(水) スパイラルガーデン(スパイラル 1F)

振付・構成: 笠井観 / 出演: 黒田育世

朗読: 尾崎若菜、川上晶子、山口奈緒子 / 音楽: 松本じろ / 衣装: 萩野緑

■スパイラルの建築

建築家 槇文彦による設計。(1985年開館) モダニズム建築を代表する作品であり、正方形、円、正三角形、円錐など「純粹幾何学形体」を基本要素とし、外観には数多くの部分的形体を積み上げていくというコラージュ的手法を採用。また、建築素材にはアルミパネルやガラス、金属的なタイルを多用しています。

1階のスパイラル(螺旋)状にスロープが設置された円筒形のアトリウム(吹抜空間)と、エントランスホールから3階へと続くエスプラナード(大階段)に代表される、ゆったりとした贅沢な空間の使い方はスパイラルの特色のひとつです。

1987年には、アメリカ建築家協会の選定する、その年の世界で最も優れたアルミニウムを使った建築に贈られる「R.S レイノルズ賞」受賞。また2012年には日本建築家協会が、25年以上に亘って「長く地域の環境に貢献し、社会に対して建築の意義を語りかけてきた建築物」を表彰する JIA25年賞を受賞しました。



スパイラル外観

槇文彦 Fumihiko Maki

1928年東京生まれ。東京大学工学部建築学科卒、ハーバード大学大学院修士修了、のちに両大学にて教える。1965年東京に(株)槇総合計画事務所を設立。その代表として国内、海外において幅広く設計活動を展開し、現在は世界貿易センター(WTC)跡地の再開発計画タワー4を手掛ける。

代表作品: ヒルサイドテラス、スパイラル、幕張メッセ、

風の丘葬祭場、テレビ朝日本社、

MIT メディアラボコンプレックス

受賞: 日本建築学会大賞、朝日賞、毎日芸術賞、

ブリツカー賞、UIA ゴールドメダル等

<http://www.maki-and-associates.co.jp/>



アトリウム